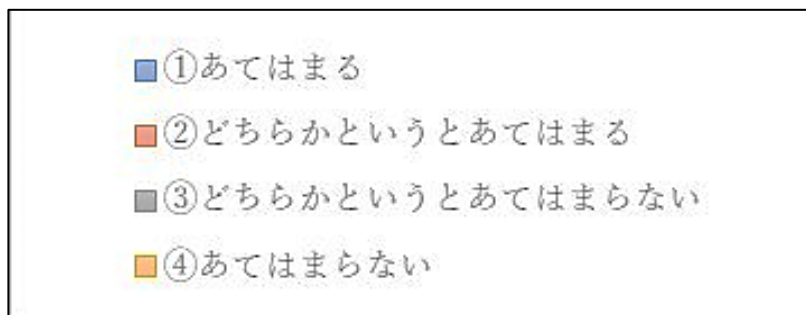




令和6年度茅ヶ崎市立浜之郷小学校  
学校評価アンケート 結果

《 この調査報告の見方 》

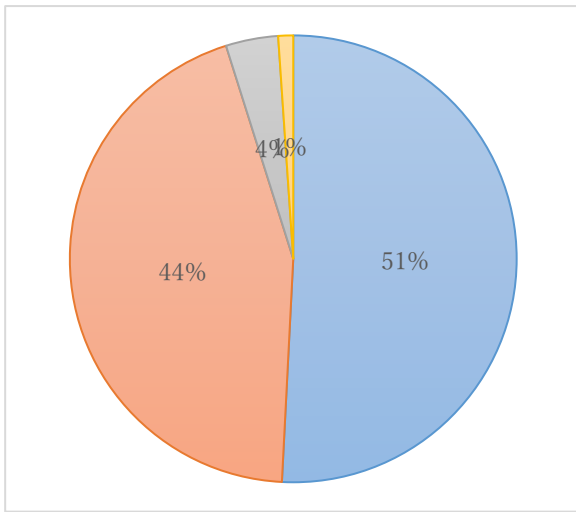
- 4件法で作成した設問への回答を、対象者ごとの円グラフに色分け表示しています。
- 選択肢は次のとおりです



- 令和6年度は学校教育の重点目標・努力目標ごとに設問を精選し、そこからうかがえることを「考察」として短くまとめました。
- 皆様の声を学校運営に活かしてまいります。

**【学校教育重点目標】「すべての子どもが学びあい、高めあい、育ちあえる学校」に関する項目**

設問1 学校は、学校教育目標である「支えあう・聴きあう・学びあう」学校づくり・授業づくりに努めていると思いますか。



**【考察】**

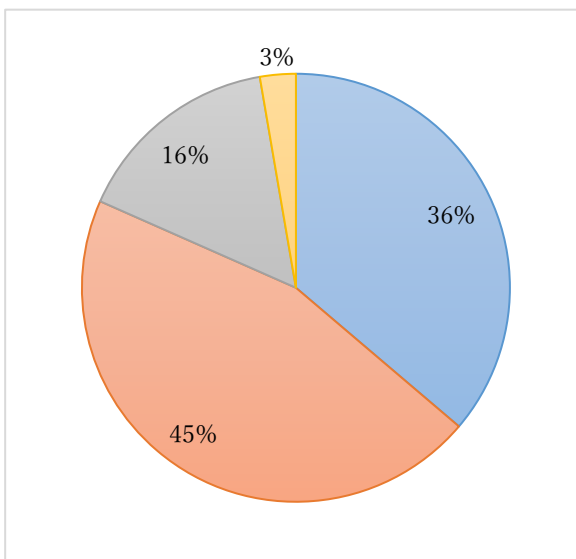
肯定的評価が94%（昨年比+1.6Pt.）と、学校教育目標「支えあう、聴きあう、学びあう」については、引き続き保護者の皆様と共有できていると判断しています。

この学校教育目標を実現するために、さらに学校づくり、授業づくりに励んでまいりたいと思います。また、教職員内の理解の徹底と児童への意識化が課題ととらえています。

**【学校運営協議会意見】**

先生が頑張ることも必要だが、先生が元気でいないといけない。先生へのアフターケアも重要視すべき。

設問2 子どもたちは、授業を通して学ぶ喜びを感じられていると思いますか。



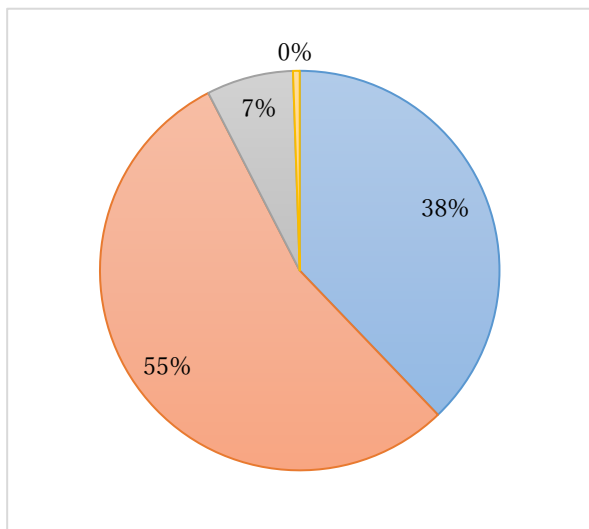
**【考察】**

肯定的評価81.6%、否定的評価18.4%（昨年比-3.2%）と多少の改善傾向が見られます。ICTを活用したドリルの導入などで基礎学力の充実を図り学校の授業そのものが「わかる、できる」ことも大事にしなが、友達と支えあいながら、学びを深め、それぞれの教科の本質に触れることができるような授業の模索を続けてまいります。

**【学校運営協議会意見】**

楽しいと感じられていない子へのフォローが必要である。自分の自信になることを見つけること、見つけさせることも大事。ただ、一定程度の基礎学力については訓練も必要。

設問3 学校は、教育活動全般を通して、子ども・保護者・地域の願いや期待に  
応えるよう努めていると思いますか。

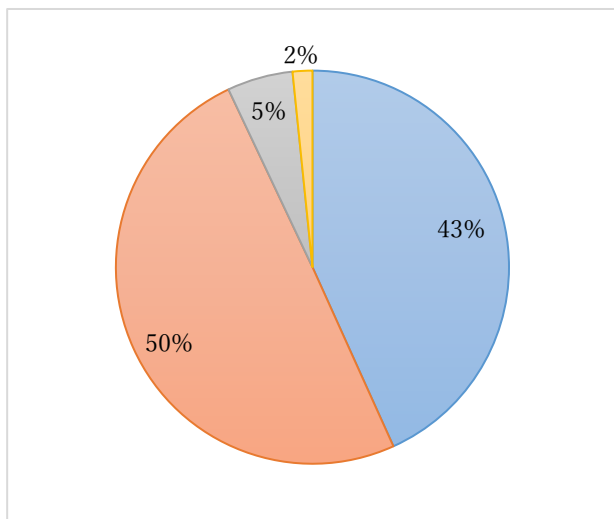


【考察】

「どちらかというにあてはまる」が半数以上を占め、地域や保護者の皆様が学校にお越しいただく機会が少しずつ増えてきた評価ととらえています。未だ、8%の方に肯定的評価をいただけていないため、次年度も学習参加、授業参観、学校公開週間など皆様ご来校いただける機会を充実させ、学校だけでなく多くの大人が力を合わせて子どもを育てる環境づくりを目指したいと思いません。

**【学校教育努力目標】「全員が安全・安心して過ごせる学校」に関する項目**

設問4 学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てるよう  
努めていると思いますか。



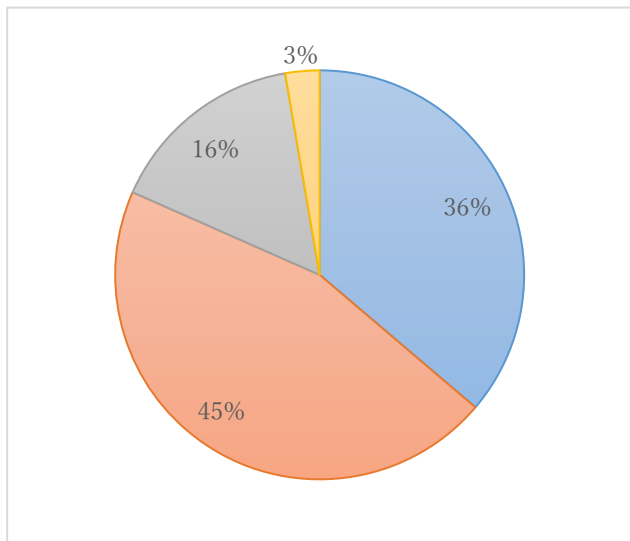
【考察】

肯定的評価 92.9%（昨年 93.6%）と昨年と同等の評価と感じます。命や心、社会のルールを育てる取り組みを高く評価いただいているのは大変うれしいことです。次年度は情報モラルの授業のカリキュラム化、人権教育の推進などこれらの指導をさらにすすめて、トラブルが起こる前の指導を充実させる、トラブルを未然に防ぐことを大切にしていきます。

【学校運営協議会意見】

肯定的意見が大変多い。設問 6 と同様の教育内容だと思われるので、いじめ防止＝生命尊重・ルール遵守であることを、子どもも大人も自覚する必要があるのではないか。

設問5 学校は、子どものことについて相談しやすい場所になっていると思いますか。



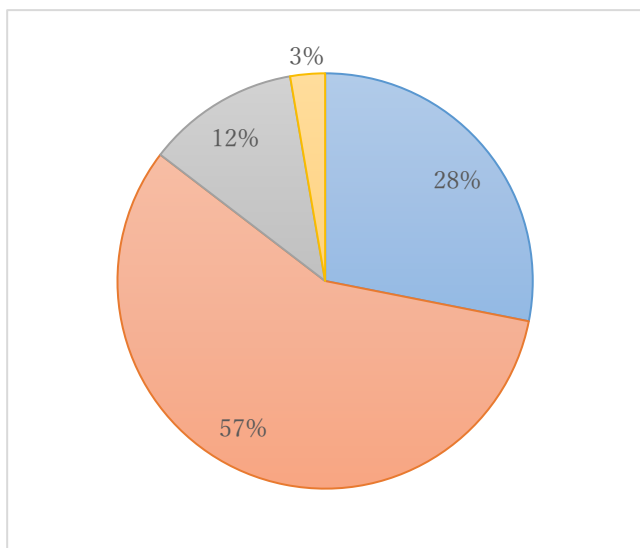
【考察】

昨年度に引き続き否定的評価が多い設問（昨年度 16%→今年度 18.4%）です。担任はもちろん、いつでもだれでも子どもたちの相談は受け付けます。困ったことがあったら、いつでもだれでもどこでも、学年の教員、心の教育相談員、養護教諭、管理職などにも相談していいんだよとお伝えいただければと思います。学校においても同様の周知を子どもたちにも職員にも徹底してまいります。

【学校運営協議会意見】

懇談会への参加が少ないと聞く。参加の多い土曜参観などで、「いつでもだれでもどこでも」相談できる体制であることをお知らせしたらどうか。また、授業だけでなく、普段の生活を見ていただく機会をもてば、子どもの変化や成長が見られるのでは。

設問6 学校は、いじめ防止等の取り組み（未然防止・早期発見・早期解決）について、適切に行っていると思いますか。



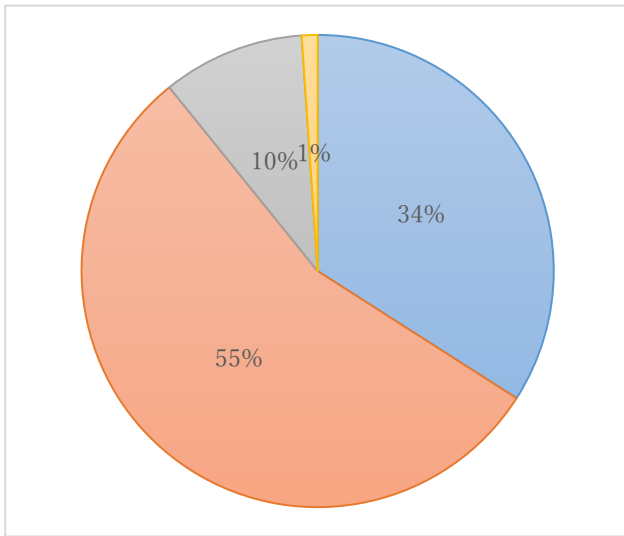
【考察】

否定的評価が 14.6%（昨年比-2.9%）、「あてはまる」が+8.1%と若干改善方向ではありますが、依然として厳しい評価ととらえています。いじめには関係していないと思われる方が多くいる反面、いじめに関係したことのある方々のご不満、ご不信ととらえています。引き続き、相談体制の充実とともに、早期発見、早期解決に向けて小さいいじめも見逃さない体制を充実させてまいります。

【学校運営協議会意見】

いじめが起こった場合、学校でいじめられた子に丁寧に寄り添うべきである。一時的な対応に終わることのないよう、継続的に見守っていく必要がある。保護者は、いじめの疑いの段階で早めに学校に相談するとよい。保護者とふれあう機会を増やし、相談のハードルを下げしていく努力をしてほしい。

設問7 子どもたちは、学校や地域（登下校や放課後・休日）で、安全に気をつけて過ごしていると思いますか。



【考察】

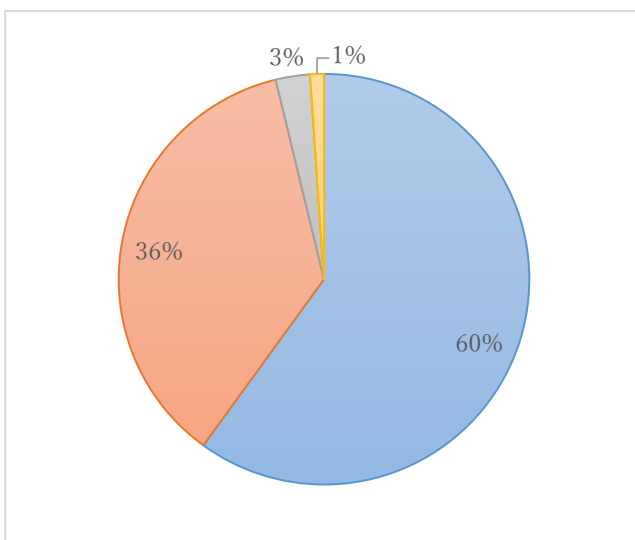
肯定的評価が89.2%と高めの設問ですが、地域の皆様からのご指摘がたびたびあることが実際です。「道路を広がって歩く」「注意してもやめない」「自転車の乗り方が危ない」「コミセンを横切る」などのお声がありました。学校でも指導してまいりますが、ご家庭でも交通安全についてお話しいただくとともに、お時間の許す限り登下校の見守り等にご参加いただけると助かります。

【学校運営協議会意見】

交通量が少ないなど、環境が油断を招いていることもある。地域の方は気にして指導してくださってはいるが、さらに地域と連携してルール等を家庭や子どもたちに地域が学校とともに教えていく必要がある。

**（学校教育努力目標）「家庭・地域との連携の推進」に関する項目**

設問8 学校は、おたよりやホームページ、グーグルクラスルームなどのWebコンテンツを通して、家庭や地域への情報発信に努めていると思いますか。



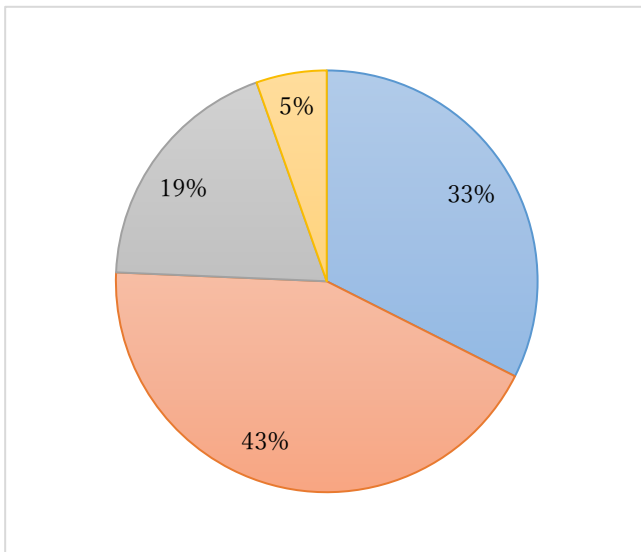
【考察】

「あてはまる」が昨年度比+6%と高評価をいただきました。一人一台のiPad 端末とあわせ、ご家庭のデジタル端末からもアクセスできる、クラスルームを活用した学校からの情報配信をしました。次年度以降もさらにさまざまな情報について積極的にICTを活用して皆様にお伝えできるよう努力してまいります。また、同時にペーパーレスの方向でお便り等のデジタル化にも取り組んでまいりました。今後とも積極的な情報発信に努めてまいります。

【学校運営協議会意見】

ぜひ今後も継続してほしい。緊急メールについては、地域の関連団体にも流してほしい。

設問9 子どもたちは、自らすすんで家庭学習に取り組もうとしていると思いますか。



【考察】

肯定的評価が75.6%(+7.8%)と評価が改善した設問となりました。ご家庭でできることとして、例えば、博物館や水族館に行く、釣りやキャンプに出かける、お買い物をして料理をする、スポーツに挑戦するなど充実した体験も学習そのものと考えます。ぜひ子どもたちとたくさんの「体験」を一緒に楽しんでいただければと思います。また、1人1台端末を活用したドリルにも取り組めるよう準備を進めています。

設問10 子どもたちが、学校での学び(生活)を通して、成長したと思うところはどこですか。(掲載は抜粋)

◆ 学習面のこと

- 社会の授業や屋外研修の後には、質問があるので、興味を持っているのはよい。
- 授業中積極的に発言しようとする姿勢。
- 世の中のもの、事柄への興味と関心。
- 宿題や提出物の締切など、自分がやるべきことと、期限を守ることを意識して取り組めるようになってきた。
- 九九を通して勉強の仕方が少しわかった
- 学校で学んできた事を家でも実践しようとしています。
- タブレットで調べて作成し、プレゼンするのが得意なようで、自分で工夫してみたり家族に発表して練習をしたりしている。今までに比べるとテストも頑張っており取り組んでいる。
- 勉強に対して、前向きに取り組む興味を持って学ぶことができているところ。
- グループ活動を通してコミュニケーションを取りながら課題に取り組むところ。
- 生き物、植物に関心を持つようになりました。また、漢字もただ覚えるのではなく、漢字の成り立ちから楽しんで学んでいるようです。
- 社会の校外学習で学んだ事を家庭で楽しそうに話をしているところ。
- 自分の考えを言えなくても、考えたり書き出したりすることで自分の考えをしっかり持

つとすることが出来るようになってきていると思います。

- 授業中はグループで話し合う時間が増えたので、人の意見を聞いたり、自分の考えを言ったりすることができるようになってきた。
- 物事に対して、自分の考えを持ち考えることができるようになりつつある。
- 言葉遣いが適切になってきた。語彙が増えた。態度や表情が状況に応じて変えることができるようになってきた。
- どのような環境であっても学び自体を楽しんでいるところ
- 時計が読めるようになってきて時間とのつきあい方や感覚が身についてきた。
- 給食係をした事で、家でも積極的に料理の手伝いやご飯をしゃもじで盛る等できるようになった事。
- 自己肯定感が高いと思うが、自分の成長のために学ぶことにつなげる方法を考えさせられています。

#### ◆ 人、友達とのかかわりのこと

- 友達と仲良く社会生活を学んでいると考える。また、自分の判断基準は、他人とでは違うこと。ふざけているつもりでも相手は不快等
- 仲間と協力したり助け合ったりするところ
- 友だちへの優しい気持ちが育ちました。
- 怪我をしている友達を助けられたとか、自分の気持ちより友達を気遣える出来事を教えてくれた時。
- 友達と過ごすなかで、人と人の関わり方を学んでいる途中なんだなと、良い意味で感じております。
- 毎日学校であった良い事も悪い事もたくさん話してくれています。楽しかった事はもちろんですが、自分が悲しかったり、お友達が悲しい思いをした事も自分のフィルターの中で考え、どうしたら良くなるか考えそれを言葉にして伝えられるようになった事は大変成長を感じております。
- 自分の意見が言えるようになったのと友人を作るのが上手くなった。
- 周りを気遣ったり、心配したり、家庭では感じられない大人数の生活で視野が広がったと感じています。
- 言葉を発する事があまり出来なかったが、仲の良い友達ができ、放課後や休日に遊べるようになった事。
- 下の子のお世話をしたり、学年が違って仲良く遊べてるところが成長したと思います。
- お友だちと共に過ごす中で、小さな問題は自分たちで解決できるようになってきた。
- 下の学年への気配り
- 他者意識が育った、今まではあまり思っている事を伝えるのが苦手でしたが、思っている事や、言いたいことをはっきり伝え先生や、親と一緒にその問題について考える時間を作ることが出来るようになりました。
- 友達付き合いが上手になってきたかなと思います。1人の子だけに固執せずに誰とでも話せる関係を築けているんだなと感じます。



- 人との関わり方、相手の気持ちを考えた行動、発言をすること
- 友達との協力、助けあう、高めあう、思いやる、楽しむこと。
- 友達との学びの中で相手の気持ちをよく考えられるようになりました。日頃の先生とのやり取りなどで学ぶ事も多く感謝です。
- 協調性や責任感や競争心だと思います。学校は社会そのものだと思うので、子ども自身が成長できるいい場所だと思います。
- 自分の考えを伝える時、相手に伝わるように工夫をするようになった。「それが終わったら〇〇してくれる？」と、今自分がしてほしいことを伝える前に、相手の都合を考えてくれている前置き一言が増えた
- 大勢で力を合わせて行う運動会や発表会などで自分の役割を認識していたところ
- 友達をたくさん作ってきているところ
- 集団行動を意識し、自分の役割や責任感を持つ事を学べていると思います。
- 係り活動通して、クラスを盛り上げるために様々な企画を考え、行動する所が成長したな、と思います。
- 大人に報告相談することをためらわなく行うようになった。まだ1年生ということもあり、善悪を見極めることができない中で大人に相談していいことを理解できるような関わりをしてきているからこそなのかなって思いました。きっと先生達が迅速に対応してくれるからこそその成長だと思います。
- 他者を思いやる気持ち、クラス、学年、学校単位で一丸となって考える
- 幼児期に比べ、失敗する事を恐れなくなっていると感じます。日頃から先生方に相談しやすい環境のようで、信頼関係を築いてくださっている事が有難いです。
- お友達に優しくできるようになった。友達と助け合いながら学校生活を送っている様子が伝わってきて成長を感じる

## ◆ 生活面

- ルールを守ること
- 自主的に行動出来るようになった。
- 体力がついた
- 自立心や、社会性が身についたと思います。
- 自分で言ったことを実行すること
- この6年間を通して、行かない時もありましたが、ちゃんと行くようになり自分のことは自分でできるようになり成長を感じています。
- もともと慎重派だが、入学後はどんどん積極的に行動できるようになってきた。叱られても前向きに「次はどうすればいいか」を考えるようになった。
- 交通ルールの認識
- 自主的に何でも取り組む様になったのが、成長したところだと思います。
- 色々なことに対して、チャレンジしようとする姿勢が成長したと思います。
- 自分のやらなくてはいけない事を考えて行動する力が身につけてきました。
- 親に頼らず自分で考えて行動できるようになったところ。
- いろんなことに一生懸命に取り組む力がついたと思います。



- 時間を気にするようになり、何時に家出ようね、何時までね、と伝えやすくなった！
- 自分から進んで何かに取り組もうとする力が前より育った気がします
- 自分で出来ることは率先してやるようになり、責任感が以前より強くなりました。

#### ◆ ご意見

- 幼稚園時代に比べて出来なくなっていることの方が多いです。
- 素行が悪い生徒が目立つ。授業妨害もあり、しっかり注意、指導していただきたい。
- 運動会などでの行事で、何一つ達成感を得られてないです。

#### 【学校運営協議会意見】

授業参観をしていると、子どもと先生方の表情がとてもよい。変えてはいけない大事な部分と、時代の変化に対応する部分を意識して、先生方が同じ方向を向いて子どもたちを育ててほしい。

## 問3・5・6・7からの施策

### 情報発信

- 学校の敷居が高い、相談しやすい関係づくり
- コミュニケーションの機会を大切にして保護者とさらに関係性を築くためにつながる必要

媒体	内容
学校だより、クラスだより G. Classroom 懇談会、面談 学習参加	学校・担任の思い 学校の研究や学び 学級のこと 子どもたちの様子 行事（運動会）のねらい

などを積極的に発信

保護者の願いを聴く機会の設定

⇒保護者との関係づくりに向け、様々な機会を通し、思いを伝え、思いを受け取り、より積極的につながり合うを工夫する

⇒Google Classroomを活用した積極的でビジュアルな情報発信

## 問1・2・8からの施策

### 校内研究の充実

- 授業を語る場の創出
- ジャンプの課題、探究的課題への挑戦
- 教科の本質に触れる授業の創造
- 教育の今を知る意識、本校の研究の積極的発信

⇒お話会の設定、個人テーマの焦点化、他校の研究会への参加、研究成果の情宣

### 基礎基本の確実な定着

- かけ算九九など、低学年のうちに徹底して定着
- 家庭学習の内容が適切か、教員間で情報共有する場を、積極的につくっていききたい

⇒文字・計算など必要最低限の学力保障のための指導・支援  
（ミライシードの活用）

⇒学年内での宿題の共有

### 読書活動の充実

- 朝読書の確実な実施
- 学級文庫の刷新

⇒読書を通じた想像力・創造力の深化

## 問4・5・6からの施策

### 相談体制

- 学年単位で子どもたち全員を見る意識をもち、学年の職員、誰にでも子どもが相談できるような雰囲気をつくる
- チームとして、子どもの相談に乗っていく意識
- 個別に相談できるコミュニケーションツールがあるとよいが ICT の活用は慎重に

⇒少なくとも学年内の子どもに関しては学年みんなで見える意識。担任だけでなく誰とでも相談できる教師と子どもとの関係づくり。

### 子どもの安心・安全

子どもたちへ	教職員が
<ul style="list-style-type: none"><li>● 全学年全クラスで、情報モラル教室といじめ（人権教育）について考える授業を行う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● トラブルを次学年に持ち越さないよう、小さなトラブルのうちに見逃さず解決</li><li>● 授業妨害などについては、安心・安全につながることであるため、担任だけで抱え込まずチームで対応していき、全員が安心して授業に取り組める環境づくり</li><li>● 6年間を見通して教員も動いていく必要</li><li>● 教員もふれあい補助員も手をかけすぎてしまうと、子どもたちが大人に任せきりになってしまうので、指導・補助の塩梅は適宜調節する</li></ul>

⇒情報モラル、いじめ防止の授業のカリキュラム化

⇒いじめ認知度を高め、早期解決を基本とする

⇒指導と支援の区別を意識

⇒支援会議の充実

⇒引継ぎ資料、機会の充実

⇒インクルーシブ教育の推進

## 問9からの施策

### 運動会

- 趣旨を引き続き、児童や保護者、地域に伝えていく必要
  - 懇談会・クラスだよりなどで、運動を楽しむという今のねらいを何度も伝えていくとよい
- ⇒様々なツールを通して趣旨を浸透させていく。子ども自身が「楽しかった」「やりがいがあった」と思える内容に

### 学校行事・児童会活動等

- 子ども主体のやりがいのある行事
  - 下請けではない委員会活動
  - 実効性のある縦割り活動
- ⇒子ども自身が自己選択、自己決定ができる機会の充実

## 「働き方改革」の視点からの施策

- バランスのよい効果的な教育課程実施計画
- ルーティン的活動と創造的活動の明確に区別
- 学校運営協議会の活躍
- ミライシードの活用